

今週のビルマのニュース 2008年4月4日【0806号】

「私たちはビルマ国民と国会議員とを代表して、世界中の国会議員に対し以下の緊急の要請をする
ものです。(中略) 軍政の憲法を受け入れず、承認もしないよう宣言すること」
—ビルマの国会議員から全世界の国会議員へのアピール (3月31日)

今週の主なニュース：軍政の憲法草案が出回る

軍政が起草した憲法草案が出回り、軍の影響力を保持する内容が明らかになった。草案の国民への公開はまだされていない。主要な問題点は以下：

- ・大統領には「軍事的見識」が必要とされ、文民の就任は困難。
- ・国会議員の25%は軍が指名する。
- ・憲法改正には議員の75%以上の賛成が必要。つまり軍の同意なしでの改正は事実上不可能。
- ・大統領や議員になるには「外国から影響を受けていない」ことが条件。夫がイギリス人だったアウンサンスーチー氏を排除している。
- ・国家の存亡がかかる緊急時に軍総司令官が全権を掌握する。

その他：ビルマの国会議員が世界の議員に声明ほか

・ビルマで1990年の総選挙で当選した国会議員が全世界の国会議員に向けて声明を発表(31日)。軍政の憲法を承認しないよう求め、各国議員がそれぞれの政府にビルマ民主化への働きかけを強めてほしいと訴えた。まもなく総会を予定している日本の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」の対応が注目される。

・スーチー氏率いる国民民主連盟(NLD)も国民に向けてアピールを発表し(2日)、国民投票で憲法を承認しないよう呼びかけた。

・ビルマ沖イェタグン田から天然ガスを送るパイプラインが破損。日石ミャンマー石油開発(日本政府が50%出資)が当該田の権益を保有している。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

一般無償資金協力 今週の約束発表はなし

草の根・人間の安全保障無償資金協力
4月2日 モン州、HIVエイズ施設の機能向上(約737万円)

イベントなど

・写真展「ビルマ2007 民主化運動: 高揚、弾圧、現在」(佐賀県立女性・生涯学習センター、13日まで)

・宇田有三さんスライド&トーク「ビルマ最新取材報告～軍事政権下に生きる人びとの現実とわたしたち」(ひと・まち交流館京都、5日18時45分～)

・「武力弾圧から半年・ビルマ民主化を求めて一人権侵害の実態と転機を迎えた民主化運動」(青山学院大学青山キャンパス6号館621室、6日13時半)

・ビルマ人難民申請者Cさん判決(東京地裁民事38部、11日13時10分)

・アースデイおおさか2008・日本ビルマ救援センター「難民支援バザー」(大阪ビジネスパーク・ツイン21ギャラリー、13日11～16時)

・日本ビルマ救援センター月例学習会「カレン民族同盟(KNU)の揺らぎ—書記長の暗殺から」(大阪ボランティアセンター、18日19時～)

・アースデーイベント「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリーリーディング」いとうせいこうさん他(代々木公園野外ステージ、19日14時～)

・日本ビルマ救援センター「2008年春・国境訪問報告会」(クレオ大坂、20日18時～)

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」(東京・王子 飛鳥山公園広場、27日10時～17時)

・「ビルマ東部で何が起きているのか?～紛争・開発・難民 日英若手専門家の報告」(豊島区民センター、27日18時～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165